

令和6年度 第1回千葉市スポーツ推進審議会議事録

1 日 時 令和6年8月19日（月） 午後2時00分～午後3時20分

2 場 所 千葉市役所（高層棟）2階 XL会議室203

3 出席者 （委員）

小川直哉会長、五月女重夫副会長、梅村芳延委員、佐倉和明委員、佐藤和子委員
吉澤裕子委員、利涉敏江委員

（事務局）

堺生活文化スポーツ部長、内山スポーツ振興課長、須長担当課長、奈良担当課長補佐、田口主査、内山主査、吉田主査、吉井主査、田母神主任主事、松本主事、島崎主事、太刀川保健体育課長、青木主任指導主事、東主任指導主事、布施公益財団法人千葉市スポーツ協会事務局補佐

4 議 題

（1）報告

ア 令和5年度スポーツ振興事業実績及び令和6年度方針と施策について

①スポーツ振興課

②保健体育課

③スポーツ協会

イ 千葉市スポーツ推進計画の進行管理について

ウ 部活動の地域移行について

エ 次期スポーツ推進計画策定スケジュール

5 議題の概要

（1）報告

6項目の報告を行った。

6 会議経過

開 会 午後2時00分

【田口主査】本日の進行を務めます、スポーツ振興課の田口でございます。なお、本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっております。本日傍聴者はおりません。なお、会議終了後、議事録の作成、議事録の確定を行い、開示されることとなりますので、あらかじめ御了解ください。それでは、初めに委員の皆様のご紹介をいたします。

<「委員一覧」に基づき紹介>

なお、委嘱状につきましては、委員の皆様にはご内諾をいただいておりますので、お手元に配布させていただきました。

続きまして、堺生活文化スポーツ部長よりご挨拶申し上げます。

【堺部長】本日は大変お忙しい中、また暑さが続く中お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本市のまちづくりおよびスポーツ振興に多大なるお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。当審議会ですが、今年度初開催となります。また、委員の改正の年度ともなりまして、昨年度から引き続き選任された皆様に加え

て、新たに選任された皆様にもご参画を頂戴しております。今後2年間にわたりましてさまざまなご審議をお願いしたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。さて、本市のスポーツですが、非常に熱い盛り上がりを見せております。いうまでもなく、ホームタウンチームの活躍により、市民の皆様に感動と夢を与え続けていただいていると感じておりますし、先月から開幕しているパリ2024オリンピックにおいても本市ゆかりの選手である、萱選手が体操男子団体に金メダルを獲得するなど嬉しいニュースも入ってきております。今後のパリ2024パラリンピックにおいても、本市一丸となり、さらなる盛り上がりにつなげていきたいと思っております。また、9月に入りますと、Xgames Chiba、ジャパンビーチゲームズフェスティバル、10月にはパラトライアスロンのアジア大会が開催されるなどビッグイベントが続きます。このようなイベントを通じて、市民の皆様のスポーツに対する関心を高めていきたいと思っております。最後になりますが、本市のスポーツ行政においては、スポーツ推進計画に基づいて進めていますが、令和7年度で計画が終了しますので、今年度から2年間にわたり、新しい計画の策定を進めてまいりたいと思っておりますので、皆様の知見から忌憚のない意見をいただき、新しい計画がより良いものになりますようお願いいたします。それでは本日はよろしくお願いいたします。

【田口主査】続きまして、職員の紹介をいたします。

＜職員紹介＞

次に役員を選出でございますが、ここからは、会長・副会長が決まるまでの間、堺生活文化スポーツ部長が仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【各委員】＜異議なし＞

【堺部長】それではご承認をいただきましたので、これからしばらくの間、仮議長として会議の進行を務めさせていただきます。お配りしている「令和6・7年度千葉市スポーツ推進審議会委員一覧」の裏面にあります「千葉市スポーツ推進審議会に関する条例」の第5条で会長、副会長を置くこととなっております。同条第2項により皆様の互選により定めていただきますようお願いいたします。立候補、または、推薦はございますでしょうか。

【吉澤委員】会長を小川委員、副会長に五月女委員にお願いできたらと思いますが、いかがでしょうか。

【堺部長】ただいま、吉澤委員から、会長に小川直哉委員、副会長に五月女委員とご推薦をいただきましたが、ご意見のある方はお願いいたします。

【各委員】＜異議なし＞

【堺部長】みなさまのご賛同を頂戴いたしましたので、会長に、小川直哉委員を、副会長に、五月女委員で決定したいと存じます。ここまで、仮議長を務めさせていただきましたが、進行につきまして、一旦、事務局に戻します。

【田口主査】それでは、小川委員は会長席へ、五月女委員は副会長席へご移動をお願いいたします。

【田口主査】それでは、はじめに、小川会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

【小川会長】みなさんはじめまして。スポーツ協会の小川でございます。連日猛暑が続いておりますが、そんな中、スポーツ推進審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。この夏はパリ2024オリンピックが行われまして、日本は金メダル20個、

銀メダル12個、銅メダルを13個獲得し、海外で行われたオリンピックでは最多のメダル獲得数となりました。オリンピック期間中は皆様も多くの感動と勇気をもたらしたことでしょう。また、スポーツ協会では、年に2回ほどトップアスリートの講演を開催しておりまして、先月、本市ゆかりの選手であり、リオデジャネイロパラリンピックで6位入賞、東京2020オリンピック・パラリンピックで6位入賞のパラトライアスリートの秦由加子選手に講演いただきました。本講演会には、定員をはるかに超える市民の皆様からの応募がございまして、トップアスリートに対する関心が市民の皆さんは非常に高いと再認識した次第でございます。また、令和8年度から新たなスポーツ推進計画が策定されるところでございます。委員の皆様には忌憚のない意見を頂戴いたしまして、地域のためにより良い推進計画を作成できればと思います。よろしく申し上げます。

【田口主査】 続きまして、五月女副会長にご挨拶をお願いいたします。

【五月女副会長】 改めてまして、みなさんこんにちは。千葉市少年スポーツ連盟の副会長を務めております、五月女でございます。今年度新しい5名の委員の皆様を加えスタートします本審議会ですが、千葉市のスポーツ振興のために、微力ではありますが、小川会長を支えていきたい思っておりますので、今後ともよろしくをお願いいたします。

【田口主査】 ありがとうございます。これからの進行につきましては、小川直哉会長をお願いいたします。

【小川会長】 それではまず、「議事録署名人」についてですが、先程、進行の方から説明がありましたように、本審議会は会議の公開がされているわけでございます。議事録の確定方法につきましては、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思っておりますが、よろしいですか。

【各委員】 <異議なし>

【小川会長】 それでは、議事録署名人として、吉澤委員をお願いしたいと思います。吉澤委員よろしく申し上げます。

【吉澤委員】 <了承>

【小川会長】 それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。最初に、報告事項（1）の「令和5年度スポーツ振興事業実績及び令和6年度方針と施策について」、スポーツ振興課より申し上げます。

【内山課長】 <資料1により報告>

【小川会長】 ありがとうございます。続きまして保健体育課よりお願いいたします。

【太刀川課長】 <資料2により報告>

【小川会長】 ありがとうございます。続きましてスポーツ協会よりお願いいたします。

【布施事務局補佐】 <資料3により報告>

【小川会長】 それでは今までの説明の中で何かご質問ありますか。

【佐倉委員】 スポーツ協会の収益事業について収支はどうなっているのでしょうか。

【布施事務局補佐】 収益事業の収益を公益事業に充てる仕組みとなっておりますので、収益に事業についてはプラスになっております。そのため公益事業でマイナスになっている部分に補填し、事業を運営しているところでございます。ヨットハーバー事業についても同様になります。

【佐倉委員】 ありがとうございます。

【小川会長】 何か他にご意見等でございますでしょうか。

それでは続いて、報告事項（2）の千葉市スポーツ振興計画の進行管理につきまして

事務局よりお願いします。

【内山課長】 <資料4により報告>

【小川会長】 ありがとうございます。ただいまの報告について、何かご意見等ありましたらお願いいたします。

【小川会長】 それでは次に、報告事項（3）の部活動の地域移行につきまして報告をお願いいたします。

【保健体育課職員】 <資料5により報告>

【小川会長】 ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、なにかご質問等がありますか。

【梅村委員】 2つ意見がございます。1つ目は、そもそもの部活動を地域移行していくことの目的を確認したいです。2つ目は、令和8年度以降に必要となる指導者数が1,000人とのことでしたが、現状は何人くらいになるのでしょうか。

【保健体育課職員】 まず部活動地域移行の目的ですが、大きく2つありまして、1つ目は少子化が進む中、将来にわたり生徒が、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことのできる機会を確保することが目的となります。2つ目は、教職員の働き方改革になります。休日の部活動が負担となっている教職員が部活動に携わらなくても生徒がスポーツ等に親しむことのできる環境をつくることにございます。

続いて、2つ目の質問ですが、今年は41校81部活の実証事業を行っておりまして、現在は集計中になります。

【梅村委員】 わかりました。ありがとうございます。

【小川会長】 その他、何かご質問ございましたらお願いいたします。

【佐倉委員】 7ページ目の今後の課題で、野球やサッカーなどのメジャースポーツに加え、生徒の競技人口が少ないスポーツについては、指導者が充足していることに対し、卓球・ソフトテニス・バドミントンなどの生徒の競技人口が比較的多いスポーツについては指導者が少ないということについて、どうしてそのような現象が起きていると考えていますか。

【保健体育課職員】 剣道・柔道などの生徒の競技人口が少ないスポーツについては、平日も含め、部活動指導員として民間指導者の方々にボランティアのような形で、すでに教えに行っている方がいらっしゃるため、指導員は充足していると捉えています。一方、卓球・ソフトテニス・バドミントンなどの競技人口が多いスポーツにおいては、競技者としては多いが、指導者としては不慣れな方、抵抗感があるといった意見を数名の方から伺っています。そのため、研修を通して指導者候補養成するなど、指導者の確保に努めていきたいと考えているところでございます。

【佐倉委員】 ありがとうございます。追加でもう1つ質問ですが、部活動地域移行で募集する指導員については、公的な指導員としての資格は不要で、研修を受講することで指導員としての資格は満たすことになるのでしょうか。公的の資格保持者と研修実施者でのレベル感には大きな違いが感じられますがその点についてどのように考えていますか。

【保健体育課職員】 指導者の資格がなくても、研修を行った者を指導者として配置しているのが現状です。将来的には資格保持者を指導者として配置した方が適切ではないかとの議論もしておりますので、いただいたご意見も踏まえ、検討しながら進めていきたいと思っております。一方で実証事業を行っていく中で、必要となる指導者数に対し競技ごとの有資格者の数についても把握できない状況のため、資格がある方のみを指導者として配置することに限定してしまうと、今後検討していきたいと思っております。

- 【五月副会長】部活動を指導することは教育の一環となりますが、勝つことだけを教える指導者が多くなってしまうことは教育の目的として外れてしまうように感じておりますので、所管課において面接、指導実績の考慮や指導者としての基準を設置し、格式を持たせることがする必要性であると考えております。
- 【保健体育課職員】千葉市の部活動地域移行においては、学校と連携した地域クラブで、学校の意向を地域クラブに反映させ、学校と関係しながら運営するという形で進めています。いただいたご意見を参考にさせていただきながら進めていきたいと思っております。
- 【小川会長】ありがとうございました。他に何かご意見等ありましたらお願いいたします。
- 【小川会長】それでは次に、報告事項（４）の次期スポーツ推進計画策定スケジュールにつきまして報告をお願いいたします。
- 【田口主査】＜資料６により報告＞
- 【小川会長】ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、なにかご質問等がありますか。
- 【佐倉委員】市民意識調査はどのようなものを想定しているのでしょうか。
- 【田口主査】現在の計画策定時に行った調査と同様、無作為抽出した市民１，２００人を対象にアンケートを実施および小学生・中学生・高校生に対して行うスポーツに関するアンケートを実施し、調査・分析を行っていく予定です。
- 【小川会長】市民１，２００人の年齢層の幅はどのくらいになるのでしょうか。
- 【田口主査】１８歳以上から７９歳までになります。上限については検討いたします。
- 【小川会長】他に何かご意見等はございますでしょうか。
- 【各委員】＜なし＞
- 【小川会長】それでは、以上で報告を終了します。ご協力ありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。
- 【田口主査】小川会長議事進行ありがとうございました。それでは、これもちまして、「令和６年度第１回千葉市スポーツ推進審議会」を終了致します。ありがとうございました。

閉 会 午後３時２０分